

第 11 回施設建設選定部会（第 1 部会）

招集年月日	平成 25 年 2 月 15 日（金）					
招 集 場 所	南部総合福祉センター2 階会議室					
開 会 時 間	午前 10 時 00 分					
閉 会 時 間	午後 11 時 20 分					
出席員 及び 欠席委員 〔出席委員 10 名〕 〔欠席委員 2 名〕 〔代理出席 2 名〕	委員 番号	氏 名	出 席 の 別	委員 番号	氏 名	出 席 の 別
	1	杉 浦 友 平	△	7	慶留間清栄	○
	2	瀬 長 満	○	8	上 田 規 子	○
	3	與那嶺紘也	○	9	大 城 秀 雄	○
	4	福 島 正 惟	○	10	城 間 精 善	○
	5	福 地 齊	○	11	神 山 本 聖	○
	6	崎 原 盛 秀	△	12	玉 城 健 一	○
会議に出席した 事務局の職・氏名	事務局長	知 花 賢 正				
	室 長	山 城 匡				
	係 長	知 念 正 樹				
	主 任	新 垣 美 智 子				
その他会議に 出席した者	コンサルタント	沖縄チャンドラー				
	代 理	山城重範（糸満市）、与那嶺武（西原町）				
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

第 11 回施設建設選定部会（第 1 部会）

会 議 録

次 第

1. 開会あいさつ
2. 前回議事録(要旨)の確認

【協議事項】

1. 一般廃棄物最終処分場基本計画の策定について

- ① 従来（当初）の大きさはどれくらいだったのか。
112,000 m³で 18,000 m³減になる。
- ② 規模決定に際しては、第 3 部会の減量目標も加味すると聞いていたが、どうなったのか。資料から見ると、沖縄県に準じた形になっているようだが。
今回提示した規模は、第 3 部会の減量目標の数値も加味して算出した規模である。
- ③ 資料 1P には沖縄県に準じてとだけの説明であるので、第 3 部会で議論された事項も明記して説明してはどうか。
その様に修正する。
- ④ 一体構造だと何か起こった場合、処分場への搬入ができなくなる。ブロック構造にすることによって、不測の事態でも搬入を停止することなく使用できるので 2 案のブロック構造の方が良い。
- ⑤ 資料の 3P～5P の数字が合わないようだが、どうなっているのか。
端数調整等で、表記した数字が変わっている。
- ⑥ 説明会等の中では地域から先行利用の要望はでてしているのか。
この件については地域とまだ協議していない。これから協議していく。
- ⑦ 建設残土との関係はどうか。
当初の工事で概算で 140,000 m³の持ち出しが出る。覆土のバランスから考えると A、B の方が望ましい。C、D 案だと先行利用施設が大きくなるので、再度残土の外部搬出がでてくる。

- ⑧ 今日の段階では出入口の場所ぐらいに絞り込んでやらないと、今後設計段階で変更の可能性もある。
- ⑨ 先行利用する期間はどれくらいか。
10 数年程度である。
- ⑩ 地域からすると安全面の確保が重要である。それができる構造が良い。
- ⑪ 先行利用の観点から長く使えるA、B案の方が良いのではないか。
- ⑫ A、B案併記して答申した場合、一つに絞るのはどこでやるのか。
最終的には、幹事会、理事会の決定である。

【確認事項】

埋立構造はブロック構造とし、施設配置計画についてはA案B案併記し、道路の取り付け状況を見て確定する。